

芸術・文化

1 芸術・文化振興

○主要な事業

① 第36回大分市民音楽祭

平素から音楽活動を行っている団体に発表と鑑賞の機会を提供し、潤いと安らぎのある市民生活を実現するために大分市民音楽祭を開催する。

昨年度実績

平成22年2月14日（日）

11団体

出演者数 198人

参加者数 994人

本年度予定

平成23年2月6日（日）

大分文化会館大ホール



大分市民音楽祭

② 第17回大分市芸能まわり舞台

芸能活動に取り組む市民に、発表と鑑賞の機会を提供することにより、伝統文化を継承し、多様で豊かな文化を創造する市民の育成を目指すとともに参加団体相互の情報交換と親睦を図る。

昨年度実績

平成22年1月24日（日）

大分文化会館

参加団体10 参加者数 1,248人

本年度予定

平成23年1月30日（日）

大分文化会館大ホール



芸能まわり舞台の様子

③ 第45回市美展

美術の各分野における市民の創作活動を促進し、発表と鑑賞の機会を提供することによって、多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざす。

昨年度実績

平成22年3月5日（金）～3月28日（日）

大分市美術館

出品数 555点

本年度予定

平成23年3月4日（金）～3月27日（日）

大分市美術館



市美展

2 文 化 財

(1) 平成22年度文化財主要事業

文化財は、郷土の先人たちが営々として築き上げ、また守り育ててきた貴重な文化遺産である。私たちは身近な郷土の文化財をとおして、先人たちのすぐれた生きざまを学びとり、あるいは天然のたくみさに接して、私たちの生活文化をより豊かなものにすることができる。その保護・保存と活用は、先人への敬愛の念と自然への畏敬の態度を養う原点でもあり、そしてこれの子孫への継承は、私たちの負うべき責務の一つでもある。

本市では、文化財保護法の主旨にのっとり、文化財の保護・保存と活用を図るために調査・保存・指定・管理・公開等の事業を推進しながら「文化財を活かした」都市づくりを展開している。

① 埋蔵文化財発掘調査

駅周辺総合整備事業、区画整理事業、宅地造成事業など公共・民間の各種開発等にもなう事前審査や発掘調査を実施。遺跡の確認、記録保存、現状保存等の措置を講じている。

埋蔵文化財にかかる、平成21年度の調査成果は下表のとおりである。

遺 跡 名	備考(時代)
大道遺跡群31次～37次	弥生～中世
横尾遺跡群140次～142次	弥生～中世
羽田遺跡第6次調査	弥生～中世
大友氏館跡第22次調査	中世
旧万寿寺跡第5次調査	中世
中世大友府内町跡第85～87次	中世
猪野遺跡第3次	弥生
下郡遺跡群第144～145次	古代
木広遺跡第1次	幕末～明治

② 文化財調査

有形・無形民俗等の各種文化財の掘り起こしのため、大分市文化財保護審議会委員等による調査活動を推進する。

平成21年度は、大南地区、野津原地区、佐賀関地区で、石造物など2,050点の文化財を調査した。

③ 文化財保存整備事業

ア 大友氏遺跡事業

(ア) 保存地区範囲確定のための試掘確認調査
(国庫・県補助事業)

(イ) 国指定の追加申請

史跡指定予定地内で、地権者の同意を得られた土地について、指定申請を行い指定を受けている。平成21年度は、大友氏遺跡内約2,771.95㎡の追加指定を受け、指定予定地の60.91%が指定地となった。今後も指定範囲内の追加指定について、地

権者の同意を得ながら推進していく。

(ウ) 啓発活動

○大友氏遺跡フェスタ

大友氏遺跡の調査成果及び遺跡の概要を広く市民に知ってもらうため、現地説明会及び出土品の公開展示を行う。

平成21年度は、

・「大友府内旧跡めぐり」と「講演会」

午前に万寿寺や稲荷社などを解説しながら史跡めぐり、午後は毛利元就と大友宗麟、南蛮貿易で結びついたベトナム等について講演会を開催した。

日時 10月3日(土)

場所 大友氏遺跡体験学習館

大分銀行赤レンガ館2F大ホール

参加者 午前 96名、午後 164名

・企画展「戦国時代の世界」－大友宗麟とそのライバル達－

大友氏と覇権争いを繰り広げた九州の戦国武将や『府内』についてパネルと発掘品による展示解説を行なった。

日時 10月2日(金)～10月12日(月)

場所 大分銀行赤レンガ館大分銀行ローンプラザ支店内

参加者 539名

・共同企画展「戦国時代と大友宗麟－戦国・大分の町『府内』の姿－」

歴史資料館と協力して街中でのサテライト展示を開催した。大友宗麟の活躍した時期を中心に戦国時代や戦国都市『府内』の様子をパネルや発掘品を使い、説明展示を行なった。

日時 7月21日(火)～8月14日(金)

場所 九州電力大分支社社屋1F

参加者 1,962名



記念イベントでの木こり体験

イ 横尾遺跡事業

九州屈指の縄文集落である横尾貝塚が、平成21年2月に国指定史跡の指定を受けた。21年度は指定予定地の87.98%が指定となった。

11月23日（月）には、横尾貝塚国史跡指定記念イベント「縄文の里山ウオーク8000年の森の探検」を開催し、ウオークラリーや石の斧を使った木こり体験、火おこし体験などを行なった。

参加者211人

ウ 文化財の保存修理事業（平成21年度）

国指定史跡「高瀬石仏」保存整備事業
事業者 大分市

県指定有形文化財 教尊寺「経蔵・輪蔵」保存修理事業

事業者 宗教法人教尊寺

エ 文化財の新規指定（平成21年度）

（ア）県指定有形文化財

「柞原八幡宮」本殿・東宝殿・西宝殿等10棟

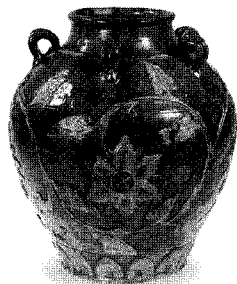
（イ）市指定有形文化財

「勝光寺華南三彩貼花文五耳壺 一口」

「大分市内出土 青銅破鏡 一括」



「柞原八幡宮」



「勝光寺華南三彩貼花文五耳壺」

④ 文化財愛護活動

郷土の文化財に愛着をもち、研さんを深めながら保護、継承等に努力し、地域づくりへの貢献を目的としている以下の各団体に指導・助成を行っている。

団 体 名	
愛 護 少 年 団	丑 殿 愛 護 団 体
	常 行 愛 護 団 体
	国 分 愛 護 団 体
	宮 苑 愛 護 団 体
	森 岡 愛 護 団 体
本 神 崎 愛 護 団 体	
	植田史跡探訪歩こう会
	大在地区文化財同好会
	坂ノ市地区郷土史愛好会
	大南地区文化財同好会
	鶴崎地区文化財研究会

(2) 各種委員会の開催

① 大分市文化財保護審議会

大分市文化財保護審議会条例により設置。文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査、審議することを目的とする。年2回開催。

平成21年度は、文化財行政の計画、市指定文化財指定基準の作成及び市指定文化財の審査について協議した。

② 高崎山管理委員会

国指定天然記念物「高崎山の猿生息地」の適正管理を行い、高崎山全体のより適正な保存管理運営を行なうことを目的とする。

平成21年度は、雌個体を一時的に避妊する措置の本格実施の要領を協議した。

③ 伝統文化調査委員会

大分市域に残る伝統文化の聞き取り調査を実施し、報告書の刊行をもって記録保存を図ることを目的とする。

平成21年度は、執筆に取り掛かり野津原地区、南大分地区、滝尾地区の報告書の刊行を行なった。

④ おおいた地域伝統文化応援事業選考委員会

大分市内に守り伝えられてきた伝統文化の継承・再興及び発展を通じ、世代間の交流の増進や地域の活性化を図ることを目的とする。

平成21年度は、8月6日（木）に選考委員会を開催、12団体に助成を行なった。

⑤ 高瀬石仏調査委員会

平成20年度からの環境調査データをもとに、高瀬石仏の保存整備方針について協議を行っている。

(3) 普及・愛護の啓発活動

① 海部古墳資料館特別展

平成21年度特別展として、「タイムトラベラー2009古の海部のまつり展」を、10月20日から11月23日まで開催した。海部地域におけるマツリの始まりについて紹介し、大在・坂ノ市地区の歴史を象徴する砂丘の遺跡と弥生時代にはじまる海辺でのマツリの様子を展示開設した。 入場者数 2,822人

② 文化財防火デーに係る防火訓練の実施

昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したため、この日を文化財防火デーと定め、文化財を火災、地震その他の災害から守るため、文化財防火訓練を展開し、文化財愛護思想の高揚を図る。

平成21年度は、1月26日に国指定重要文化財「木造普賢延命菩薩坐像」を所有する大山寺で、地元自治会及び所有者の協力を得て、大分中央消防署と共同で通報訓練、初期消火訓練、放水訓練を行なった。

参加者 52名



文化財防火訓練「大山寺」

③ 講師の派遣

学校や公民館、一般団体の依頼により、文化財や地域の歴史等について、講師の派遣を行っている。
平成21年度の実績は下記のとおり

依 頼 先	件 数
市 内	10
市 外	0
合 計	10

(4) 収蔵・公開施設

施設名	毛利空桑遺品館						
所在地	〒870-0101 大分市鶴崎381番地の1						
電 話	097-521-4893						
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 但し毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12/28～1/4）						
概 要	鶴崎在住の肥後藩士。儒者、教育家として家塾知来館・郷校成美館などで子弟を教育し、また勤皇家としても活動した毛利空桑の偉業をしのぶため、彼の遺品を収蔵、展示したものである。居宅天勝堂と知来館に隣接する。昭和60年改築。 平成21年度入館者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>大 人</td> <td>5,667人</td> </tr> <tr> <td>小 人</td> <td>671人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6,338人</td> </tr> </table>	大 人	5,667人	小 人	671人	合 計	6,338人
大 人	5,667人						
小 人	671人						
合 計	6,338人						

施設名	池見家住宅						
所在地	〒870-0315 大分市大字佐野 佐野植物公園内						
電 話	なし（問合せは文化財課へ）						
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 年末年始（12/28～1/3）						
概 要	江戸時代、原村・久土村を統轄する臼杵藩丹生原組の庄屋を勤めた池見家の邸宅で、市内では最古の民家として歴史的な価値を持つものであり、また、普通の民家とは違って庄屋住宅としての構造をよく伝えた建物で、建築史の上からも注目される。 平成3年佐野植物公園内に移築復元。 平成21年度入館者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>大 人</td> <td>5,510人</td> </tr> <tr> <td>小 人</td> <td>2,916人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>8,426人</td> </tr> </table>	大 人	5,510人	小 人	2,916人	合 計	8,426人
大 人	5,510人						
小 人	2,916人						
合 計	8,426人						

施設名	海部古墳資料館								
所在地	〒870-0303 大分市大字里646番地の1								
電 話	097-524-2300	F A X	097-524-2301						
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 但し毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12/28～1/4）								
概 要	国指定史跡「亀塚古墳」のガイダンス施設として広く古墳文化を案内する施設。展示室には、実物資料や複製品のほか、大型ジオラマ、市内の古墳復元模型を展示し、楽しみながら学べる資料館です。 平成12年4月開館。 平成21年度入館者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>団 体</td> <td>3,882人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>12,355人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>16,237人</td> </tr> </table>			団 体	3,882人	個 人	12,355人	合 計	16,237人
団 体	3,882人								
個 人	12,355人								
合 計	16,237人								

施設名	大友氏遺跡体験学習館								
所在地	〒870-0843 大分市大字大分4257番地の1								
電 話	097-544-5011	F A X	097-544-5011						
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 但し毎月第1月曜日は開館し翌日休館 祝日の翌日（土・日曜日の場合開館） 年末年始（12/28～1/4）								
概 要	国指定史跡「大友氏遺跡」の内容と発掘調査への理解を深めてもらうために、設置した施設。調べ学習の資料や、体験学習のメニューを揃え、研修室では、40名が活動を行える。 平成20年4月開館。 平成21年度入館者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>団 体</td> <td>3,311人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>2,558人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5,869人</td> </tr> </table>			団 体	3,311人	個 人	2,558人	合 計	5,869人
団 体	3,311人								
個 人	2,558人								
合 計	5,869人								

(5) 指定・選択文化財

① 国指定

ア 重要文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
太 刀	八 幡	柞原八幡宮	昭25. 8.29	銘 国宗 長さ 75.8cm	鎌倉時代
太 刀	〃	〃	〃	銘 源国 (以下一字並年号不明) 長さ108cm	〃
薙 刀 直 し 刀	〃	〃	〃	銘 表「国重八幡大菩薩」裏「天満大自在天神」	鎌倉時代末期～南北朝時代
銅 造 仏 像	〃	〃	〃	社伝 阿弥陀如来立像 金剛仏 重さ11.25kg 像高30.3cm	白鳳時代
木造普賢延命菩薩坐像	〃	大 山 寺	昭50. 6.12	榿材 像高 87.7cm	平安時代
後 藤 家 住 宅	杵ヶ原	個人所有	昭50. 6.23	18世紀中頃の庄屋の母屋 寄棟造り 茅葺	江戸時代
白檀塗浅葱糸威腹巻兜・大袖・小具足付	八 幡	柞原八幡宮	昭55. 6. 6	胴高 32.3cm 草摺高 28.5cm 兜鉢高 18.0cm	室町時代末期
木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝戒寺	平 3. 6.21	文保 2 (1318) 康俊作 榿材寄木造 像高 303.8cm	鎌倉時代
柞原八幡宮文書	八 幡	柞原八幡宮	〃	柞原宮領関係史料 (213通) 元和 7年	平安・鎌倉・南北朝・室町・江戸
帆 足 家 伝 来 田能村竹田関係資料	美術館	大 分 市	平 6. 6.28	紙本墨画淡彩花卉図外25点	江戸時代

イ 史 跡

豊 後 国 分 寺 跡	国 分	大 分 市	昭 8. 2.28	国分僧寺 追加指定 (昭58. 9. 8 昭61. 5. 28)	奈良時代
大 分 元 町 石 仏	元 町	〃	昭 9. 1.22	口羅または仁聞の作と伝えられる 保存修理 昭46, 52, 53, 61年以降	平安時代
高 瀬 石 仏	高 瀬	〃	〃	石窟を彫り込み奥壁に東を向いて彫られる	平安～鎌倉時代
千 代 丸 古 墳	宮 苑	〃	昭 9. 5. 1	装飾古墳 横穴式石室	古墳時代後期
築 山 古 墳	本神崎	八幡神社	昭11. 9. 3	前方後円墳 箱式石棺	古墳時代中期
古 宮 古 墳	三 芳	大 分 市	昭58. 5.11	石棺式石室墳 九州では他に例なし	終末期古墳 (7世紀)
亀 塚 古 墳	里	〃	平 8. 3.28	前方後円墳 全長約116m	古墳時代中期
大 友 氏 遺 跡	顕徳町	〃	平13. 8.13	九州六国を支配した大友宗麟を全盛期とする戦国大名・大友氏の拠点 方三町 (200m四方)	戦国時代
横 尾 貝 塚	横 尾	〃	平21. 2.12	縄文時代の集落の移り変わりが復元できる。縄文時代からの地形と自然がよく残されている。	縄文時代

ウ 天然記念物

柞原八幡宮のクス	八 幡	柞原八幡宮	大11. 3. 8	自生のクス 樹高約30m 幹囲約18.5m	
高崎山のサル生息地	神 崎	大 分 市	昭28.11.14	都市近郊における日本猿の自然的集団	
オオサンショウウオ	神 崎	鶴マリンパレス	昭27. 3.29	広島市安佐動物公園より譲渡	特別天然記念物

エ 無形民俗文化財 (選択)

鶴 崎 踊	鶴 崎	鶴崎おどり保存会	昭61.12.17	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	
-------	-----	----------	-----------	---------------------	--

オ 登録文化財

大分銀行赤レンガ館 (旧：上三銀行本店・旧附内会館)	府内町	(株)大分銀行	平 8.12.20	鉄筋コンクリート造 2階建 スレート及び瓦葺葺	大正 2年 (1913)
太田缶詰工場主屋	白 木	個人所有	平11. 6. 7	木造 2階建 寄棟造 洋風の玄関特徴 接客用座敷や和室の居住部分と工場事務室併設	明治39年 (1908)
太田缶詰工場土蔵	〃	〃	〃	切妻造の 2階建て 外壁漆喰仕上げ	〃
太田缶詰工場石倉	〃	〃	〃	外壁周りを石造 軒周り漆喰仕上げ 正面左右に 2つ出入口があるのが特徴	大正期
荻本家住宅主屋	坂ノ市	個人所有	平17. 7. 12	木造平屋建 一部 2階建 瓦葺 建築面積244㎡	江戸末期
帆足家分家住宅 「松石不老館」主屋	中戸次	個人所有	平17.11.10	入母屋造、棧瓦葺、木造 2階建 通り土間をもつ商家建築の形式	明治39年 (1908)
帆足家分家住宅 「松石不老館」新座敷	〃	〃	〃	寄棟造、棧瓦葺、木造平屋建 南側に広縁をとり中庭を望む 門及び扉は棧瓦屋根	明治中期
帆足家分家住宅 「松石不老館」道具蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造 2階建 切石積みの上に建つ 海鼠壁	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」質蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造 2階建 切石積みの上に建つ 海鼠壁 棧瓦屋根の板塀及び門	〃

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
帆足家分家住宅 「松石不老館」湯殿及び風呂	中戸次	個人所有	平17.11.10	湯殿を南北棟、風呂を東西棟とし、両棟が接して建つ。寄棟及び人母屋の屋根、共に棧瓦葺	明治中期
帆足家分家住宅 「松石不老館」井戸上屋	〃	〃	〃	切石積み基礎の上に四方に柱を立て、切妻造、棧瓦葺。切石を長方形の井桁に組む	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」穀物蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建。引戸口2箇所。全長に吹き放ちの下屋。切石積みの上に建つ	明治22年
帆足家分家住宅 「松石不老館」味噌蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、木造平屋建。下屋北側2間半分を壁で囲む。切石積みの上に建つ	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」裏二階	〃	〃	〃	寄棟。棧瓦葺。木造2階建。裏木戸中央に1間幅の観音開きの木戸口	明治中期
帆足家分家住宅 「松石不老館」門	〃	〃	〃	間口は2.7m、棟門の形式。棧瓦葺、木造。両脇に塀を続け、門脇に潜戸を設ける	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」門塀	〃	〃	〃	切石積みの上に建ち、腰を下見板張り、上部を真壁造、漆喰塗り。2箇所格子窓、棧瓦葺屋根	〃
帆足家本家住宅 「富春館」主屋	〃	個人所有	平18.11.29	木造二階建。一部平屋。入母屋造。棧瓦葺。南側中央式台玄関を設け、西側に一段高い座敷	慶応元年 (1865)
帆足家本家住宅 「富春館」宝蔵	〃	〃	〃	土蔵造二階建。切妻造。棧瓦葺。一階2室。二階1室。外壁漆喰ぬり。腰を海鼠壁	大正期
帆足家本家住宅 「富春館」質蔵	〃	〃	〃	土蔵造二階建。切妻造。棧瓦葺。一階2室。二階1室。外壁漆喰ぬり。腰を海鼠壁	大正5年頃
帆足家本家住宅 「富春館」洋館	〃	〃	〃	木造二階建。寄棟造。棧瓦葺。南側に洋室。東側に店舗を付属。モルタル壁。石造風	大正5年 (1916)
帆足家本家住宅 「富春館」家離れ	〃	〃	〃	木造平屋建。寄棟造。棧瓦葺。南側に廊下。北側中央に八畳座敷。書院風のつくり	昭和12年 (1937)
帆足家本家住宅 「富春館」表門	〃	〃	〃	質蔵と洋館の間に建つ。二間幅の棟門。木造。切妻造。棧瓦葺。両脇に袖塀	江戸末期
帆足家本家住宅 「富春館」中門	〃	〃	〃	主屋式台玄関の西側。間口一間。木造腕木門。切妻造。棧瓦葺。両脇に袖塀	江戸末期
帆足家本家住宅 「富春館」門塀	〃	〃	〃	主屋南側の庭の南側と西側を開き、質蔵北西隅から宝蔵南まで延びる。南東隅に腕木門	大正期
浄土寺本堂	王子西町	浄土寺	平20.10.23	木造平屋建。入母屋造。本瓦葺。大規模な七間堂	嘉永2年 (1849)
浄土寺庫裏	〃	〃	〃	木造2階建。寄棟造。妻入棧瓦葺。床つきの座敷・奥座敷	江戸後期・末期改修
浄土寺玄関及び渡廊下	〃	〃	〃	木造平屋建。本堂と庫裏を繋ぐ。入母屋屋根の玄関	江戸末期
浄土寺大弁才天石宮	〃	〃	〃	石造。庫裏の西北。庭園内に建つ。一間社流造	明治44年 (1911)
浄土寺一伯公廟	〃	〃	〃	木造平屋建。入母屋造。妻入棧瓦葺。松平忠直の墓碑を設置する	江戸後期。大正14・昭和49移築
浄土寺表門	〃	〃	〃	木造。左右袖附。本堂正面に建つ四脚門	明治後期。昭和26改修。49移築
浄土寺北門	〃	〃	〃	木造。瓦葺。柱上に皿斗を置き、その上に台輪をまわす	大正14年 (1925)。昭和49年移築

② 県指定

ア 有形文化財

柞原八幡宮文書附絵図	八幡	柞原八幡宮	昭35. 3.22	絵図のみ	江戸時代
八幡宇佐宮御託宣集附裏書	〃	〃	〃	宇佐神宮に関する記録16巻と裏書2からなる。文明2年 (1470)	室町時代
詫摩文書	北	個人所有	〃	合計11巻。286点の文書。嘉応元年 (1169)～慶長16年 (1611)	平安時代末期～江戸時代初期
都甲文書	駄原	個人所有	〃	合計4巻。90通 (先哲資料館寄託)	平安～江戸時代
刀	野津原	個人所有	昭40. 3. 9	銘 貞行 応永時代	室町時代前半
刀	府内町	個人所有	昭43. 3.29	銘 平鎮教 長さ 81.6cm	戦国時代 (永禄年間)
木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭44. 3.22	檜材 寄木造 像高 86.3cm	平安時代後期
木造不動明王立像	八幡	柞原八幡宮	昭45. 3.31	〃 〃 像高 78.8cm	鎌倉時代末期～南北朝時代初期
木造女神形坐像	〃	〃	〃	樟材 一木造 像高 39.5cm	平安時代後期
木造菩薩形坐像	〃	〃	〃	〃 〃 像高 46.6cm	〃
木造祖師形坐像	〃	〃	〃	〃 〃 像高 54.8cm	平安時代末期
板彫多聞天立像	〃	〃	〃	〃 〃 像高 78.4cm	鎌倉時代
板彫不動明王立像	〃	〃	〃	〃 〃 像高 76.9cm	〃
紙本著色由原八幡宮縁起絵巻附極書二通	〃	〃	〃	絵 土佐光茂 詞 青蓮院宮尊鎮法親王	室町時代
紺紙金泥増忉阿含経	〃	〃	〃	11紙 縦34cm、横64.2cm 文和4年 (1355) に尼法忍により施入	平安時代末期
山水蒔絵縁起絵巻納箱	〃	〃	〃	銘 元和八年 (1222) 中川秀征 (岡藩2代藩主) 寄進	江戸時代初期
紙本著色鹿図六曲屏風一双	上野丘	円寿寺	昭46. 3.23	土佐派の画風 春隻と秋隻 (各) 150.0×52.5cm	江戸時代中期
絹本著色柿本人磨図	〃	〃	〃	土佐信実筆の墨書あり 縦34.5cm 横37.5cm	鎌倉時代後期

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
刀	横 尾	個人所有	昭49. 3.19	銘 藤原統行 平成16年6月21日所有者変更による	
太 刀	羽 屋	個人所有	昭51. 3.30	銘 豊後国行平（豊後刀の逸品である）	鎌倉時代
安 藤 家 刀	横 尾	個人所有	昭54. 5.15	銘 豊州高田住大和太極藤原貞行 平成16年6月21日所有者変更による	
中 間 石 幢	志津留	共 有	昭55. 4. 8	造立者の墨書銘あり 応永6年（1399）造立	室町時代
万 年 橋	寒 田	西寒多神社	〃	文久2年（1862）建造（西寒多神社境内）	江戸時代
金剛宝戒寺木造釈迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭57. 3.30	檜材 寄木造 像高161.6cm	鎌倉時代
豊後国諸検地帳	駄 原	県 教 委	〃	文禄2年（1593）7冊 他全82冊 平9年大分県立先哲資料館	安土桃山時代～ 江戸時代初期
木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平 9. 3.25	檜材 寄木造 像高68cm	鎌倉時代後期～ 南北朝時代
刀	大道町	個人所有	平10. 3.20	豊後国高田住藤原寛行作	江戸時代
脇 差	〃	〃	〃	〃	〃
築山古墳出土品	本神崎	築山古墳保存会	〃	築山古墳出土品一括	古墳時代
絹本著色阿弥陀如来迎図	森 町	専 想 寺	平11. 3.23	1 幅	室町時代
木造阿弥陀如来立像	〃	〃	〃	1 軀	鎌倉時代
巴 形 銅 器	埋蔵文化財 センター	県 教 委	〃	考古資料	弥生時代
教尊寺（7棟）	〃	教 尊 寺	〃	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘楼・山門 江戸期の伽藍構成 建物の大方が現存	江戸時代
刀	常 行	個人所有	平13. 4. 3	銘 平長盛（豊後刀の作風強く残す）	室町時代
刀	森 町	個人所有	〃	銘文 平 長盛 平成19年7月24日 所有者変更で 臼杵市より	〃
木造聖観音菩薩坐像	八 幡	大 山 寺	平14. 3.29	樟材 一木造 像高 273.5cm	平安時代
木造十一面観音菩薩立像	永 興	臨 濟 寺	〃	桧材 寄木造 像高 170cm 平成18年5月18日所有者変更	〃
早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女神社	平16. 3.30	切妻造 本瓦葺	江戸時代
早吸日女神社本殿	〃	〃	〃	三間社流造 檜皮葺	〃
早吸日女神社社家 （小野家住宅）	〃	〃	〃	入母屋造 棧瓦葺	〃
長湯横穴墓群第7号墓出土品	埋蔵文化財 センター	県 教 委	平17. 3.29	鹿角製刀装具装着鉄刀 他 計28点	古墳時代後期
木造地藏菩薩立像（愛宕地蔵）	青 石	妙藏寺保存会	平17. 3.30	像高81.5cm、材質檜、寄木造、彫眼、 漆箔が施されている	鎌倉時代
絹本著色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平18. 3.31	縦212.3cm 横214.5cm	〃
木造聖徳太子二歳立像	勢 家	法 専 寺	〃	桧寄木造 玉眼 像高68.2cm	〃
銅造如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	平19. 3.30	総高16.3cm 像高15.1cm 銅鑄造製 鍍金あり	飛鳥～白鳳
大志生木宝篋印塔	十 谷	西岡神社	平21. 3.17	應安六年癸丑六年（1373）の銘。「塔供養」と刻ま れている。平成21年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
柞原八幡宮	八 幡	柞原八幡宮	平22. 3.30	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・拝殿・楼門（回廊）・ 西門・南大門・八王子社・宝蔵の10棟	江戸～明治

イ 史 跡

丑 殿 古 墳	賀 来	丑殿神社	昭30. 5.28	横穴式石室 家形石棺（昭47年保存施設）	古墳時代後期
脇 蘭 室 墓	鶴 崎	大 分 市	昭32. 3.26	墓碑 表面に高弟帆足萬里による 「文教脇先生墓」の六字	江戸時代
楠木生石造五重塔	下戸次	個人所有	昭34. 3.20	銘 延文五年（1360）庚子三月十七日	南北朝時代
府 内 城 跡	大 手 町 荷 揚 町	大 分 市	昭38. 2.15	石垣、土堀、堀、櫓2、櫓跡1	江戸時代
曲石仏付双塔（五輪塔）・磨崖連碑	曲	共 有	昭41. 3.23	磨崖仏 石窟内に丸彫りの像や陽刻の 像が安置される（昭47年補修）	平安時代末期～室町時代
口戸磨崖仏附磨崖五輪双塔	口 戸	個人所有	昭44. 3.22	宇佐八幡宮と関連ある磨崖仏	鎌倉時代末期～室町時代
毛利空桑旧宅及び塾跡	鶴 崎	大 分 市	昭45. 3.31	空桑私宅「天勝堂」塾「知米館」安政4年 （1857）一緒に建設 遺品館に遺品陳列	江戸時代
岩屋寺石仏	古国府	円 寿 寺	〃	国指定解除物件	鎌倉時代～室町時代
参勤交代道路	今 市	大 分 市	昭47. 3.21	幅2.1m 長さ660mの石畳	江戸時代
蓬萊山古墳	庄ノ原	共 有	昭56. 3.31	前方後円墳 全長60m	古墳時代前期
毛利空桑墓	常 行	共 有	昭62. 6.29	墓碑「日本国儒者毛利到墓」と大書 陰刻 昭36. 3.14指定後地番誤記判明昭62. 6.29再指	江戸時代

ウ 無形民俗文化財（選択）

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
賀来神社卯酉の神事	賀 来	共 有	昭33.3.25	記録保存の措置を講ずべきものとして選択「賀来の市」	
鶴 崎 踊	鶴 崎	鶴崎おどり保存会	昭56.3.31	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	

エ 天然記念物

ピロウ自生地	高 島	大 分 市	昭30.5.27	4株 いづれも樹周80~90cm 樹高3~4m	
ウミネコ営巣地	〃	〃	〃	4000羽程度 5月~8月中旬に営巣	

③ 市指定

ア 有形文化財

熊野権現縁起絵巻	津 守	熊野神社	昭49.1.9	松平忠直の遺品 全13巻（熊野神社）	江戸時代
神 庫	寒 田	西寒多神社	〃	校倉造 応永15年（1408） 明治19年改修（西寒多神社境内）	室町時代
鳥 居	王子町	王子神社	〃	寛政8年（1796）2月建立（王子神社境内）	江戸時代
刀（大・小）	府内町	個人所有	〃	毛利空桑所持刀 刀 長さ89.5cm 脇差 長さ59.0cm	刀 室町時代 脇指 江戸時代
刀	歴史資料館	大 分 市	〃	表銘 豊前家上神狐丸盛利行年七十才作 裏銘 天保9年戊戌2月■日任望角幸安藏 天保9年（1838）	江戸時代
円寿寺相伝文書及び大友資料	上野丘	円 寿 寺	昭51.8.24	開基道勇置文以下15件内 大友関係資料1巻12通	鎌倉時代~室町時代
大般若経本附納函	〃	〃	〃	寛正4年（1463） 寄進	室町時代
御 城 下 絵 図	歴史資料館	大 分 市	昭56.8.1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの	江戸時代
十一面観音立像	国 分	国 分 寺	〃	桜材 寄木造 像高 106.2cm 藤原仏の特徴	平安時代後期
万寿寺石造国東塔	金 池	万 寿 寺	〃	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代
王ノ瀬天満宮の家形石棺	海部古墳資料館	共 有	〃	家形石棺	古墳時代中期
紙本着色隠元・木庵・即非三幅対像附絹本淡彩蔵樂達磨図	田 室	長 福 寺	昭62.3.20	黄檗宗三禅師肖像画と達磨図 寛文元年（1661）製作	江戸時代
波奈之丸屏風（厳島神社図）	歴史資料館	個人所有	平 2.7.16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期
熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東鶴崎	釧八幡社	平 3.3.27	熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 〔寛政10年（1798）〕	江戸時代
岡藩船三佐入港船絵馬	三 佐	野 坂 神 社	〃	岡藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 〔文化10年（1813）〕	〃
府内藩校遊焉館絵図	歴史資料館	弥 栄 神 社	平 6.2.28	遊焉館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期
帆 足 本 家 酒 造 蔵	中戸次	大 分 市	平11.3.23	酒造過程のわかる木造建築物	明治~大正
脇 指	府内町	個人所有	平16.3.31	銘文 表 豊州藤原友行 裏 貞治七年三月日（1368）	南北朝時代
刀	森 町	個人所有	〃	銘文 表 豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏 明暦元年九月吉日（1655）	江戸時代初期
刀	永 興	個人所有	〃	銘文 表 長谷部國重 相伝の名門の一派 「府内國重」とも呼ばれる	室町時代後期
木造宝冠釈迦如来座像	太 田	個人所有	平17.3.31	桧材 寄木造 像高68.5cm	南北朝時代
木造毘沙門天立像	恵 良	西 福 寺	〃	桧材 寄木造 像高65cm	江戸時代前半
木造薬師三尊立像	本 町	福 城 寺	〃	桧材 一木彫成	室町時代前半
銅造観音菩薩立像	今 市	安 楽 寺	〃	銅製の像 像高26.2cm 懸仏	鎌倉時代後半
丸山八幡神社楼門	〃	丸山八幡神社	〃	享保5年（1720）入母屋造 3回修理	江戸時代
木造地藏菩薩立像（愛宕地藏）	本神崎	八 幡 神 社	〃	像高96.8cm、台高36.5cm、材質檜、寄木造、玉眼入りで彩色が施されている	江戸時代初期
大 平 文 書	大 平	個人所有	〃	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二大別される	江戸時代~明治時代
若林文書・系図	一尺屋	個人所有	〃	大友氏の水筆として活躍した若林家の文書。国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書である。	戦国時代
早吸日女神社石鳥居	佐賀関	早吸日女神社	平17.9.27	寛永17年（1640）6月の刻銘 熊本藩主細川忠利の寄進	江戸時代初期
早吸日女神社神楽殿	〃	〃	〃	文政10年（1827）以降、元の半分規模で現在地に移築大正4年改築切妻造本瓦葺	江戸時代後期
早吸日女神社拝殿	〃	〃	〃	宝暦13年（1763）6月細川重賢建立 嘉永3年（1850）改修 入母屋造本瓦葺	江戸時代中期
熊本藩船佐賀関入港船絵馬	〃	〃	〃	藩主が参勤交代時に座乗する御座船の図で、描写法や画材などから江戸末期の作品	江戸時代末期
西 谷 橋	大 平	大 分 市	〃	文政7年（1824）甲申3月臼杵大野の石工、新左工門・友藏によって構築架橋	江戸時代後期
西福寺宝篋印塔	恵 良	西 福 寺	平17.3.31	宝篋印陀羅尼経を納めた供養塔 総高258.5cm	室町時代

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
福城寺逆修石幢	本町	福城寺	平17.3.31	大永6年(1526)の銘	戦国時代
福城寺宝塔	〃	〃	〃	総高244.5cm	南北朝時代後半
山の川石造宝塔・宝篋印塔	入蔵	個人所有	〃	どちらも溶結凝灰岩製	室町時代前半
摺石幢	摺	個人所有	〃	総高226cm 八角形	戦国時代
原村石幢	原村	個人所有	〃	安山岩製 総高269cm	室町時代後半
地福寺宝塔	福宗	地福寺	〃	2基並立 向かって右184cm、左176cm	室町時代中期
地福寺石幢	〃	〃	〃	明和8年(1771)の銘 凝灰岩製	江戸時代中期
永富家逆修碑(3基)	新町	個人所有	〃	生前に供養する供養石塔 慶長5年(1600)の銘	安土桃山時代末期
宝泉寺大乘妙典・字一石塔	竹屋	個人所有	〃	総高215cm 享保12年(1727)の銘	江戸時代
霊山寺山門	岡川	霊山寺	平19.8.12	木造・銅板葺・三間一戸二重門。禅宗様の特徴が表れている。古文書より寛永15年(1638)	江戸時代
常楽寺文書	〃	常楽寺	〃	大友松野家系図・大友歴代の記載が豊富。少式頼尚施行状写・毛利輝元書状写・政治状況	中世・近世
光西寺真宗関係資料	末広町	光西寺	〃	六字名号・親鸞聖人像・方便法身像・親鸞聖人絵伝 六字名号は蓮如真筆	室町・江戸時代
水分神社銅鈴	横尾	水分神社	平20.12.4	完形品と残欠2個 精巧な鋳上がりで埋納されていた 北部九州で鋳造	弥生時代中期末～弥生時代後期前
伝岩屋遺跡出土銅戈・石戈	歴史資料館	銅戈・大分市教委 石戈・個人所有	〃	銅戈は、細形銅戈で我が国初期鋳造品 石戈は、遠賀川流域で製作された可能性	弥生時代中期
勝光寺華南三貼花文五耳壺	歴史資料館	勝光寺	平21.12.16	深い光沢のある緑色を基調とした優品	安土桃山時代
大分市内出土 青銅破鏡	歴史資料館 文化財センター	大分市教委 大分県	〃	漢鏡	弥生時代後期～後期末

イ 史 跡

大友頼泰墓	岡川	常楽寺	昭49.1.9	五輪塔 高さ176cm 大友氏三代 延享元年(1744)以降 H19/6/4所有者修正	江戸時代
丹生遺跡	丹生	大分市	〃	昭和37年～42年にかけて、6次にわたって調査	旧石器時代
滝尾百穴横穴古墳群	羽田	共有	〃	横穴古墳群	古墳時代後期
伽藍石仏	永興	個人所有	〃	仏像の配列に特徴あり	鎌倉時代～室町時代
府内城跡	荷揚町	大分市	平7.2.17	県指定部分を除く城地	江戸時代
佐藤家墓地五輪塔群	前田	個人所有	平17.3.31	材質すべて角閃石安山岩 完形41基	戦国時代～江戸時代初期
鶴迫磨崖仏	太田	地福寺	〃	地藏尊「火防(ひぶせ)の地藏さま」と呼ばれる	安土桃山時代末期～江戸時代初期
鶴迫磨崖連碑	〃	個人所有	〃	15基の板碑型の碑 永禄2年(1559)の銘	室町時代末期

ウ 無形民俗文化財

柞原太鼓	八幡	保存会	昭54.6.14	柞原八幡宮の放生会「浜の市」に起源をもつ。	
深山流 伊与床神楽	端登	神輿社	平12.6.16	市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に古様を伝えている。	
岡倉神楽	下原	保存会	平18.3.7	勇壮な神楽であり、活発に活動している。 また、伝承も計画的に行われている。	明治時代～

エ 無形民俗文化財(選択)

羽田神楽	羽田	大分社	平17.9.27	昭和45年創立と新しいが、庄内神楽の流れをくみ伝承に熱心に取り組んでいる(選択)	昭和45年～
------	----	-----	----------	--	--------

オ 有形民俗文化財

鯨網大漁光景図絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平17.9.27	明治45年に奉納された漁撈絵馬で 当時の鯨網漁の様子が詳細に描かれている	明治時代
漁業凶大絵馬	〃	〃	〃	明治35年に奉納された漁撈絵馬で 珊瑚樹採取の船団を描写している	〃
帆足本家酒造用具一式	中戸次	大分市	〃	多くの酒造用具が残され、それらは伝統的な民具で 構成されている(343点) H19/2/8大分市へ寄付	江戸時代末期～昭和47年

カ 天然記念物

オオイタサンショウウオおよび生息地	岡川	霊山寺	昭49.1.9	希少種とされている(霊山寺境内)	
ヤマフジ	寒田	西寒多神社	〃	枝張り 東西約24m 南北約5mの範囲で広がる(西寒多神社境内)	
クスノキ	下戸次	八幡神社	〃	高さ約20m 樹冠の広がり東西約33m 南北45m(八幡社境内)	
柞原八幡宮の森	八幡	柞原八幡宮	平2.9.12	自然林の残存林 柞原八幡宮境内林	

3 大分市歴史資料館

大分市大字国分960番地の1
電話 549-0880
FAX 549-5766

(1) 運営方針

市内を中心とした考古、歴史、民俗の各分野にわたる資料を公開展示するとともに、企画展示、テーマ展示、各種の講座・講演会などを通して、広く市民が郷土の歴史を学ぶ場をめざしている。また、学校と連携して各教育課程に適応した歴史学習や体験活動のプログラムを充実させ、職員が学校に出向いて体験活動の指導を行う「移動歴史教室」を推進する。

更に、大友氏関係及び同時代の歴史資料の調査研究と収集を積極的に進め、郷土史料の保存・公開をはかり、大分の歴史に関する情報を積極的に発信する。

(2) 施設の概要

昭和62年4月 開館
敷地面積 4380.00㎡ 建築面積 1889.60㎡
延床面積 2576.92㎡ 展示室面積 690.75㎡

(3) 展 示

原始時代から近世までの通史的展示と民俗資料の常設展示をしている。各種の模型やレプリカ、イラスト、年表などを多用して、平易で立体的な展示を行っている。また、テーマ展示室を設け、テーマ毎に順次館蔵品を公開している。

① 1階ホール

豊後国分寺七重塔復元模型（1/10）、市内の石仏案内、大分市公共施設案内・予約システム。

② 常設展示室

第1展示室 大分のあけぼの、大分の君と古墳の時代、国分寺と律令の時代。

第2展示室 大友宗麟と中世、近世の府内

民俗展示室 昭和20～40年代の生活用具（家電製品・玩具・楽器・カメラ・教科書など）をオープン展示。

③ テーマ展示室

常設展示以外の館蔵資料を中心に年4回テーマに沿って展示。

④ 子ども歴史学習コーナー及び自分史・家族史コーナー

子どもたちの調べ学習に利用できる歴史・郷土史の本を設置。さらに、自分史・家族史の展示コーナーを設置。

⑤ 豊後国分寺跡の巡見

七重塔跡・金堂跡の礎石や、整備された講堂・食堂・回廊・中門跡をめぐりながら、奈良時代を追体験し、森や池辺の散策が楽しめる。

(4) 企画展（平成22年度）

① 第29回特別展

「偉人たちの風貌 ー大分の肖像展ー」
会期 10月22日（金）～11月23日（火）

（開館日数：28日）

内容 歴史上の人物の容姿をかたちにした肖像は、像主に対する追慕や尊崇の念、礼拝の対象など、さまざまな人々の想いや願いをもって製作された。そのため、肖像にはその人物の特徴が何らかのかたちで写し出された。故に、こうした肖像は、像主の人物像などを理解する上で常に欠かせない対象となっている。本特別展では、歴史の発展に大きな役割を果たした大分ゆかりの人物の肖像を一堂に集め、これらを通して、彼らが生きた歴史や時代を顧み、あわせてそこに込められた人々の願いや想いを紹介する。



大友宗麟肖像画



滝廉太郎写真

② テーマ展示（平成22年度）

第1回「お神楽の世界」

会期 4月17日（土）～6月27日（日）

内容 市内各地に伝わるお神楽。その歴史や演目・衣装・楽器などを紹介する。

第2回「どこがちがうの？ものの形から歴史を探る」

会期 7月10日（土）～10月17日（日）

内容 各時代の遺物を比較して、その違いから社会背景を考える。

第3回「古地図が伝える大分の歴史」

会期 12月11日（土）～1月30日（日）

内容 大分を描いた絵・地図から、歴史や社会をさぐり紹介する。

第4回「日本歴史遺産 大分市の国指定史跡」

会期 2月5日（土）～4月3日（日）

内容 大分市内にある九つの国指定史跡について紹介する。

(5) 各種講座（平成22年度）

講座名	期間（開催日時）	定員	内容	備考	
ふるさとの歴史再発見・歴史のコース	4月～6月 計9回	原則 第1～3 土曜日 午後2時～ 3時30分	70名	郷土大分の歴史と人物について	有料
ふるさとの歴史再発見・考古のコース	7月～9月 計9回		70名	大分県内の発掘調査にかかわる報告	有料
ふるさとの歴史再発見・民俗・文化史のコース	11月～12月 計6回		70名	大分の民俗と文化史について	有料
ふるさとの歴史再発見・古文書のコース	1月～3月 計9回		70名	中・近世文書の解説	有料
ふれあい歴史体験講座 （親子と一般）	毎月第2・4土曜日 午前9時30分～12時、 午後2時～4時の2回	各70名	管玉丸玉作り／土笛作り／勾玉作り／粘土はにわ作り／和風作り／土偶作り／縄文土器作り／縄文かご編み／土面作り	有料	
			古代火起し体験／遺跡発掘体験	無料	
昔のおもちゃで遊ぼう （親子と一般）	5月5日（水）こどもの日 午前9時～午後4時	なし	資料館隣の広い史跡公園で、手作りのおもちゃ（竹馬、コマ、お手玉等）で遊ぶ	無料	
七夕飾りを作ろう （親子と一般）	7月3日（土） 午前9時～午後4時	なし	短冊に願いごとを書いて、色紙などで七夕飾りを作る	無料	
勾玉作り教室 （親子と一般）	7月24日（土）、25日（日） 11月3日（水）、21日（日） 午前9時～11時、 午後1時～3時	なし	事前申し込み不要で、好きな時間に勾玉作りを体験する	有料	
夏休みジュニア歴史講座 （小3～中3）	7月29日（木）・30日（金） 午後1時30分～4時	50名	小中学生を対象に、火おこし・明るさ体験・勾玉作りなどを実施	有料	
子ども1日学芸員 （小5～高）	8月18日（水） 午前9時30分～午後4時	30名	資料の整理や様々な催しの準備などのしごと体験	無料	
歴史資料館体験学習講習会 （小中学校教職員対象）	8月4日（水）、10日（火） 午前9時30分～午後4時	応募	歴史体験活動の内容紹介/体験活動実践講習①館内見学、火起こし体験②勾玉作り体験等	無料	
ミュージアム・シアター	原則第4日曜日 午後1時から	各70名	日本の歴史、文化、伝統芸術などを16ミリ映画やビデオを上映し紹介する。	無料	
展示解説講座	原則第4日曜日 午後2時から	各70名	展示品を解説し、会場を案内する テーマ展・特別展ごとに各1回開催	観覧料	

(6) 利用状況

① 利用者数

年度	入館者		講座室等利用者		合計
	大人	小中高生	大人	小中高生	
平成17年度	9,552	12,770	5,350	11,751	39,423
平成18年度	7,224	13,176	6,334	13,699	40,433
平成19年度	12,138	14,790	9,811	15,034	51,773
平成20年度	8,171	13,425	8,819	13,670	44,085
平成21年度	10,544	12,672	7,912	11,331	42,459

② 利用状況（平成21年度）

区分	観覧者		講座室利用者		移動講座	合計
	個人	団体	一般	講座・体験		
大人	6,323	4,221	86	7,105	721	18,456
中・高生	186	204	0	8,241	3,090	24,003
小学生	1,367	10,915				
合計	7,876	15,340	86	15,346	3,811	42,459

③ 各種講座参加者数（平成21年度）

講座名	延回数	参加者数
ふるさとの歴史再発見	歴史のコース	9回 507人
	考古のコース	9回 553人
	民俗・文化史のコース	6回 309人
	古文書のコース	9回 710人
ふれあい歴史体験講座	23回	1,720人
昔のおもちゃで遊ぼう	1回	292人
勾玉作り教室	5回	1,317人
夏休みジュニア歴史講座	1回	116人
子ども1日学芸員	1回	13人
ミュージアム・シアター	12回	161人
展示解説講座	5回	110人
合計	81回	5,808人

④ 企画展入館者数（平成21年度）

名 称	期 間	入館者数
第28回特別展 「山ん縄文と海ん縄文－縄文人のムラのかたち－」	7月10日（金）～9月6日（月） （開館日数 51日間）	6,106人
記念講演 「縄文の生活誌－縄文人の歴史ものがたり－」	8月23日（日）	140人
テーマ展示Ⅰ 「昔の道具にみる匠のわざと知恵」	4月18日（土）～6月28日（日） （開館日数 61日間）	3,965人
テーマ展示Ⅱ 「みやびの世界－源氏物語絵－」	9月26日（土）～11月23日（日） （開館日数 51日間）	5,548人
テーマ展示Ⅲ 「地図と写真でたどる大分の近代史」	12月5日（土）～1月31日（日） （開館日数 42日間）	2,102人
テーマ展示Ⅳ 「大友館最前線！」 考古資料と文献史料が語る大友館の実像	2月13日（土）～3月28日（日） （開館日数 38日間）	3,442人

(7) 調査研究（平成21年度）

① 平成21・22年度特別展調査

ア) 平成21年度特別展

「山ん縄文と海ん縄文－縄文人のムラのかたち」の調査

イ) 平成22年度特別展の予備調査

② 市内、県内の考古・歴史・民俗資料調査

資料館に寄せられる情報をもとに、資料の収集と記録保存を目的とした調査を随時行う。

(8) 資料収集（平成21年度）

展示・保存・研究のため、寄贈・寄託・購入・複製品製作の方法で、資料の収集につとめている。平成21年度の主な収集資料は以下のとおりである。

① 購入資料 中村家文書 全8通

内訳 大友吉統安堵状
大友吉統書状
中村鎮宥置文
菊池尚哲武機覚書
能見松平重休知行充行状
能見松平重交知行充行状
能見松平親盈知行充行状
能見松平親栄知行充行状

② 寄贈資料 戦争関係資料 4件 5点

練習兵用物理学教科書、科学教科書
軍隊手帳
「薄れゆく悲劇 西部ニューギニア戦線」
「私たちの青春 激動の昭和史」

(9) 刊行物（平成21年度）

- ① 資料館ニュース NO.87～90号
- ② 大分市歴史資料館年報（平成20年度）2009
- ③ 特別展図録

④ 特別展図録ポスター・チラシ

⑤ 平成22年度 大分市歴史資料館総合案内

(10) 利用案内

開館時間 午前9：00～午後5：00

（入館は午後4：30まで）

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館）

ただし、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館（祝日の場合は開館）
祝日の翌日（土・日曜の場合は開館）
年末年始（12月28日～1月4日）

観覧料 大人 200円（団体150円）

高校生 100円（団体50円）

中学生以下 無料

*団体は20名以上

*特別展開催中は別料金になることがある

講座室 第1講座室 1時間 150円

第2講座室 1時間 100円

*一室として利用することも可

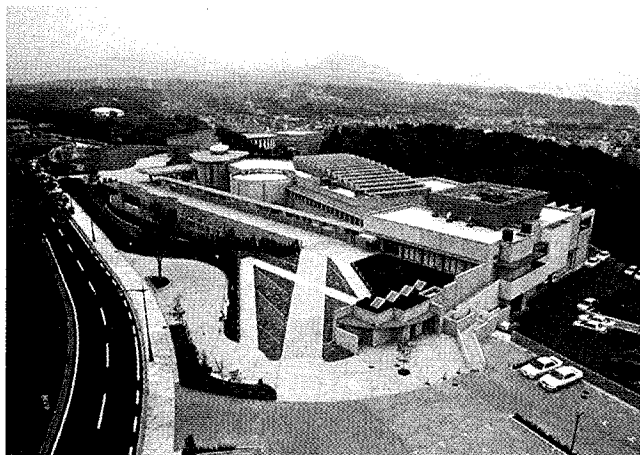
*冷暖房を使用する場合は4割増しとする

交通機関

JR久大本線 豊後国分駅下車 徒歩2分

4 大分市美術館

所在地 大分市大字上野865番地
電話 554-5800
F A X 554-5811



(1) 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ美術館」として、だれもが気軽に美術を楽しめる場と機会を提供している。年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できる常設展やさまざまな分野の優れた美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人までが幅広く楽しめる生涯学習施設としての美術館運営をめざしている。

また、特色ある地域の美術文化情報を広く発信するとともに、開かれた美術館として市民との協働による運営を推進する。

(2) 施設の概要

平成11年2月	開館
敷地面積	129,837m ² (上野丘公園全体)
建築面積	6,570.65m ²
延床面積	9,036.48m ²
展示室面積	2,097.81m ²
構造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨 鉄筋コンクリート造2階建

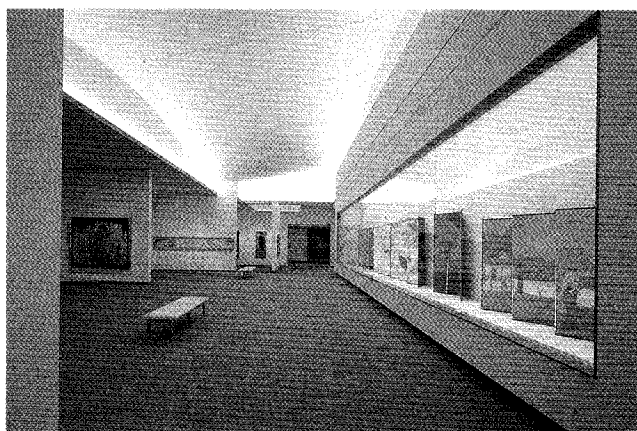
(3) 収集方針

- ① 豊後南画をはじめ、大分市にゆかりのある作家の優れた作品
- ② 美術史的展望に立ち、近・現代を中心とした芸術的に価値のある内外の作品
- ③ 将来方向として重視される環太平洋地域の美術についての作品
- ④ 歴史的文化遺産として貴重な美術資料

(4) 常設展（平成22年度）

常設展示室では、コレクションを中心とした企画により、年間4回（常設展示室2は6回）の展示を行う。

- ① 常設展示室1 福田平八郎や高山辰雄など、近代・現代の日本画を中心に紹介する。
- ② 常設展示室2 田能村竹田や帆足杏雨など、豊後南画等を紹介する。
- ③ 常設展示室3 佐藤敬や片多徳郎など、近代・現代の洋画、版画等を紹介する。
- ④ 常設展示室4 生野祥雲斎の竹工芸作品を中心に紹介する。
- ⑤ 全常設展示室 [サマー企画] アート・ワンダーランド2010を開催し、全室共通のテーマのもとに所蔵作品を紹介する。



常設展示室1

常設展示室 1	常設展示室 2	常設展示室 3	常設展示室 4
[1月13日(水)] ～4月18日(日) 大画面への挑戦	[2月23日(火)] ～4月18日(日) 屏風絵	[1月13日(水)] ～4月18日(日) 海外へ旅立った作家たち ー佐藤敬を中心にー	[1月13日(水)] ～4月18日(日) 祥雲齋と弟子たち
4月20日(火)～7月11日(日) 異国を描く	4月20日(火)～5月30日(日) 近代大分の南画 ★この1点 幸松春浦「清磨呂参宮図」 6月1日(火)～7月11日(日) 狩野派の絵画	4月20日(火)～7月11日(日) 大分の美術 1980年代の状況	4月20日(火)～7月11日(日) 編組と表現
7月13日(火)～9月20日(月) [サマー企画] アート・ワンダーランド2010 びじゅつかんであそぼーアートでおおいた再発見！ー			
9月22日(水)～12月26日(日) 京都で活躍する 郷土ゆかりの画家たち ★この1点 正井和行「発掘」	9月22日(水)～11月14日(日) 中国明清絵画と竹田 ★この1点 田能村竹田「雁来紅群雀図」 11月16日(火)～12月26日(日) 神と仏のすがた ★この1点 田能村竹田「白衣大士図」	9月22日(水)～12月26日(日) 具象絵画の展開	9月22日(水)～12月26日(日) 季節と竹
1月5日(水)～4月17日(日) 生誕200年 帆足杏雨展 前期：1月5日(水)～2月20日(日) 後期：2月22日(火)～4月17日(日)		1月5日(水)～4月17日(日) 官展の画家たち ★この1点 権藤種男「瓦礫の街」	1月5日(水)～4月17日(日) 祥雲齋の美の原点 ★この1点 生野祥雲齋「輪花永芳盛籃」

(5) 特別展 (平成22年度)

タイトル 会期	主催	趣 旨
銅版画の巨匠 駒井哲郎展 4月15日(水)～5月16日(日)	大分市美術館	多様な銅版画の技法を用い、白黒の明暗を幅広く生かした幻想的で詩情豊かな作品を生み出し、特に1950年代以降、国内外で高く評価された駒井哲郎の作品約100点を紹介します。
郷土在住作家展Ⅳ 普久展 5月21日(金)～6月11日(金) 児玉成弘展 6月17日(水)～7月8日(水)	大分市美術館	二紀展を主体に発表活動を意欲的に行う洋画家普久(1926～)と行動美術展を主体に発表活動を意欲的に行う洋画家児玉成弘(1932～)、それぞれの代表作及び関連資料を展示し、その活動の全容を紹介します。
ようこそ魔法の美術館 親子で楽しむ光のアート 7月16日(金)～8月31日(火)	大分市美術館 大分合同新聞社	見て、触って、楽しみながら、ゲーム感覚で「光のアート」に親しんでいただくと共に、広く現代の「光のアート」の状況を紹介します。
秋山庄太郎 花道遙ー366日展 9月8日(水)～10月17日(日)	大分市美術館 大分合同新聞社	戦後、写真を芸術としての立場からとらえ、その振興や普及に全生涯を注いだ秋山庄太郎。40代から取り組んだ秋山写真芸術の核となるライフワーク「花」。その代表作『花道遙ー366日』の全作品を展覧し、秋山が見つめた究極の美の世界を紹介します。
宮崎県立美術館コレクションによる シュルレアリスム ー不条理と幻想の芸術世界 10月22日(金)～12月12日(日)	大分市美術館 大分合同新聞社	シュルレアリスムは、理性や常識からの精神の解放を唱え、1920年代フランスで興った芸術運動です。マグリットやキリコ、エルンスト、ダリなど、巨匠たちの幻想的で魅力あふれる世界を紹介します。
第59回高文連美術・書道・写真中央展 12月16日(水)～12月25日(土)	大分市美術館 大分県高等学校文化連盟	大分県内の高等学校で学ぶ生徒たちが制作した作品(美術・書道・写真)を展示し、紹介します。
浮世絵美人画展 1月6日(水)～2月20日(日)	大分市美術館 大分合同新聞社	華麗な錦絵を創始した春信から、大首絵で美人画の頂点を極めた歌麿、抒情豊かな風景の中に美人を描いた広重まで、江戸の流行を写し続けた仇で粋な浮世絵美人画、その華やかな魅力、装い、化粧、四季の姿などをテーマに肉筆画を交えて紹介します。
第45回市美展【公募展】 3月4日(金)～3月27日(日)	大分市 大分市教育委員会 市美展運営委員会	洋画・版画/日本画/書/写真/彫刻/工芸/デザインの7部門の応募作を一堂に紹介します。

太分市美術館

(6) 各種講座・講演会（平成22年度）

特別展関連講座

講座名	期日・期間	定員	内容
展示解説	展覧会会期中毎週水曜日	各20名程度	美術館職員等による展示解説

広く美術、芸術に親しむ講座

講座名	期日・期間	定員	内容
「菅久展作家トーク」	5月29日(土)	80名	特別展関連講演会
「児玉成弘展作家トーク」	6月26日(土)	80名	特別展関連講演会
「秋山庄太郎 花道遙—366日展」講演会	9月8日(水)、17日(金)	80名×2回	特別展関連講演会
「宮崎県立美術館コレクションによるシュルレアリスム—不条理と幻想の芸術世界」講演会	10月24日(日)	80名	特別展関連講演会
芸術・文化に親しむ講座「初心者のためのデジフォトアドバイス」	9月11日(土)	80名	デジカメでの撮影を学ぶ
芸術・文化に親しむ講座「刺繍カフェ at 美術館」	11月13日(土)	20名	お茶を飲みながら簡単な刺繍を楽しむ
実技講座「色えんぴつ画入門」	12月6日(月)、7日(火)	20名×2回	色えんぴつ画を学ぶ
アートカレッジⅠ「生誕200年 帆足杏雨」	9月2日(水)、10月7日(水)、11月4日(水)、12月2日(水)、2月3日(水)	80名×5回	美術に関する講義と展覧会解説
アートカレッジⅡ「展覧会解説と学芸員のとおきの話」	9月16日(水)、10月28日(水)、11月25日(水)、1月13日(水)	80名×4回	美術に関する講義と展覧会解説

子どものための講座

講座名	期日・期間	定員	内容
ゴールデンウィーク子ども講座	5月1日(土)1回、2日(日)2回	20名×3回	紙好き！～紙すきしよう～
夏休み子ども講座	7月28日(水)～7月30日(金)	50名×3回	楽しいな！らくらく工作
	8月4日(水)、5日(木)、7日(土)	50名×6回	紙で遊ぼう！～ハニカムペーパーを使って～
	8月11日(水)～8月13日(金)	50名×3回	フードマジック
	8月17日(火)～8月19日(木)	50名×6回	How to 美術館～美術館を100倍楽しもう～
	8月24日(火)～8月26日(木)	40名×3回	光のファンタジー
ファミリーアートクラブ	10月16日(土)、11月20日(土)、12月18日(土)、1月22日(土)、2月19日(土)	30名×5回	みんなで楽しく「みる・つくる」
サマー企画アートワンダーランド関連企画「日本画で遊ぼう」	8月1日(日)	—	日本画のワークショップ「日本画再発見！」
美術館出前教室	6月29日(火)、10月27日(水)、11月10日(水)、12月9日(木)、1月20日(木)、1月26日(水)	市内小中学校対象	学校における絵画の鑑賞教室

市民との協働講座等

講座名	期日・期間	定員	内容
美術館ボランティア研修講座	年7回	101名×7回	美術館で活動するボランティアへの研修
美術館ボランティア養成講座	年8回	80名×8回	始めて美術館で活動しようとするボランティアへの研修
美術館で音楽会	7月24日～8月28日の毎土曜日6回	各80名	応募による市民の演奏

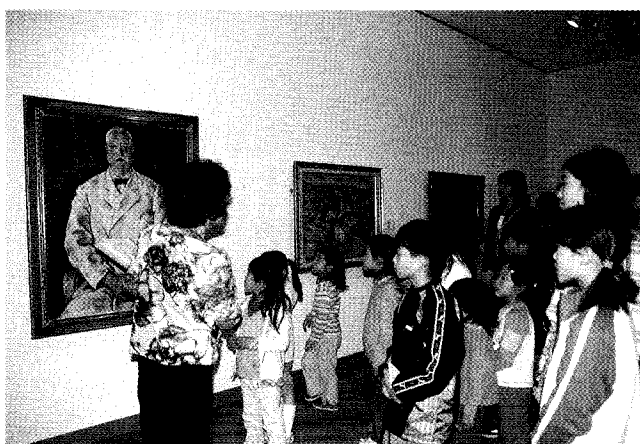
(7) 美術館ボランティア

概略

美術館ボランティアは、生涯学習の一環としての市民による積極的な美術教育普及活動である。大分市美術館が行う諸事業に協力すると共に、美術に関する教養を高め、市民文化の発展に寄与することを目的としている。

① 活動

美術関係資料の収集整理、所蔵作品の解説、ワークショップの実施、その他展覧会諸事業への協力など。



所蔵作品の解説をするボランティア

② 研修

大分市美術館美術振興課職員による所蔵作品関連の研修、講師招聘による美術史の研修など。

(8) 調査研究

① 美術作品等の調査研究

大分ゆかりの作家、日本及び諸外国の近現代芸術、歴史的文化遺産など大分市美術館の収集方針に沿った美術作品及び関連する美術作品、資料等の調査、研究を行う。

② 展示、保存に関する調査研究

特別展、常設展でより効果的に展示する技術、方法や所蔵作品のより安全な保管技術、方法について調査、研究を行う。

③ 教育普及活動に関する調査研究

(9) 利用状況（平成21年度）

1. 観覧者

① 総観覧者

区分	常設展	特別展	計
一般	25,053 人	47,053 人	72,106 人
高・大生	2,029	4,296	6,325
小・中生	16,756	25,824	42,580
計	43,838	77,173	121,011

② 特別展観覧者

展覧会名	期間	観覧者
人間とは —探求する版画家 浜田知明—	平成21年4月24日 ～5月17日	2,522 人
郷土在住作家展Ⅲ 飯尾寿夫展	5月20日 ～6月10日	1,845
郷土在住作家展Ⅲ 脇坂秀樹展	6月13日 ～7月5日	2,204
みんな大好きアンパンマン やなせたかしの世界	7月10日 ～8月31日	42,488
日本近代洋画への道 —山岡コレクションを中心に—	9月5日 ～10月18日	6,134
ラウル・デュフィ展	10月23日 ～12月13日	6,720
第58回高文連 美術・書道・写真中央展	12月17日 ～12月25日	1,732
巨匠たちのパレット&絵画展 —新たな魅力と素顔—	平成22年1月5日 ～2月21日	7,163
第44回 市美展	3月5日～28日	6,365
計	273日	77,173

2. 研修室

利用件数	利用者数
206 件	9,674 人

(10) 利用案内

開館時間 午前10:00～午後6:00（入館は午後5:30まで）

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）
 ※第1月曜日は開館し、翌日の火曜日が休館（ただし、特別展会期中の火曜日は開館します。）

年末年始（12月28日～1月4日）

観覧料 常設展

一般 300円（団体250円）

高・大学生 200円（団体150円）

小・中学生 無料

障がい者（身体障害者手帳等提示）全額減免

※団体は20名以上

特別展

その都度決定（常設展と共通）

研修室 使用料 1時間 1,050円

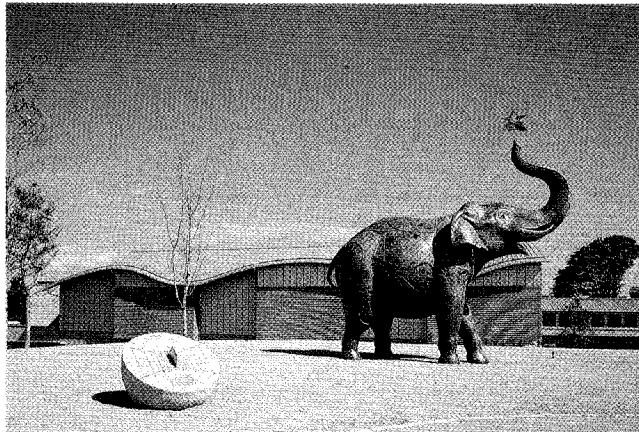
※冷暖房を使用する場合は4割増しとする。

■交通機関

バス JR大分駅北口「大分駅前3番」のりばから大分バス「大分市美術館」行き約10分下車すぐ。

タクシー JR大分駅北口から約10分。

車 大分自動車道／大分ICから約10分。

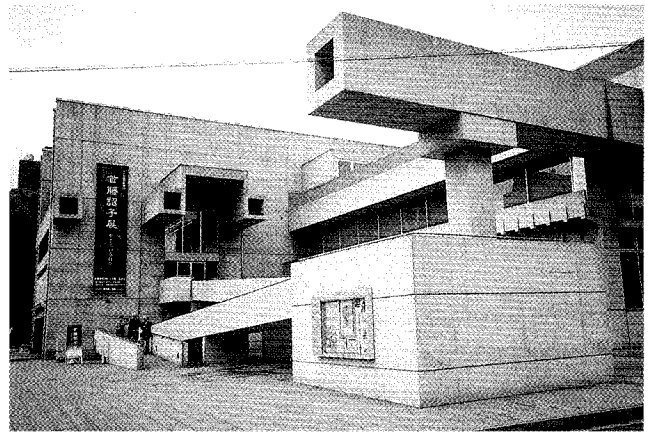


象「遊星散歩（安藤 泉作）」

5 アートプラザ

所在地 大分市荷揚町3番31号

電話 538-5000 F A X 538-5060



(1) 運営方針

ゆとりと豊かさあふれる生涯学習社会をめざし、新しい文化の創造と発信が積極的に行われる場として、気軽に利用できるよう市民サービスにつとめる。

また、大分市出身の世界的建築家磯崎新氏建築作品の模型や資料の展示を行い、建築理念や思想などを広く紹介する。

(2) 指定管理者制度の導入

① 目的

民間事業者の有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上と行政コストの縮減、さらには雇用の創出による地域の振興及び活性化を図る。

② 指定管理者

アートプラザ共同事業体

③ 指定期間

平成22年4月1日～平成25年3月31日

(3) 施設の概要

① 沿革

昭和41年（1966）5月 大分県立大分図書館（磯崎新氏設計）として竣工

昭和43年（1968）4月 建築年鑑賞受賞

平成6年（1994）8月 大分県立大分図書館新築移転のため閉館

平成7年（1995）4月 大分市が無償貸与を受ける

平成10年（1998）2月 アートプラザ開館

② 概要

敷地面積 3,686.7m²

建築面積 1,599.945m²

延床面積 4,081.551m²

構造 鉄筋コンクリート造

地下1階地上3階

(4) 事業内容

本館の業務は、貸館業務と常設展示業務に分けられる。

① 貸館業務

ア 施設の用途

(ア) アートホール (2F)

文化・芸術関係団体の展覧会場として、また、各種文化講演会や催事の会場として利用できる。

(イ) ギャラリーA・B (1F)

主として個人やグループによる絵画・書・写真などの創作活動の発表の場として利用できる。

(ウ) 研修室 (2F)

芸術・文化に関する会議や研修会や講座などに利用できる。

(エ) 実技室 (2F)

比較的大きなプレス機を設置して各種版画ができるように準備している。その他多様な芸術活動にも対応できる。

イ 施設紹介

	面積	展示壁面	天井高	収容人員
アートホール	427㎡	116m	5.14m	250人
ギャラリーA	236㎡	78m	2.85m	
ギャラリーB	102㎡	46m	2.85m	
研修室	79㎡		4.66m	70人
実技室	77㎡		4.66m	20人

- ・ギャラリーA・Bを同時使用することもできる。
- ・実技室には1.8m×0.9mの作業台が6台あり、水道も設置している。

② 常設展示業務

ア 磯崎新建築模型展示業務 (3F及び2F 60'sホール)

磯崎新氏が設計した建築物の精密な模型や資料などを、随時展示替えを行いながら常設展示する。

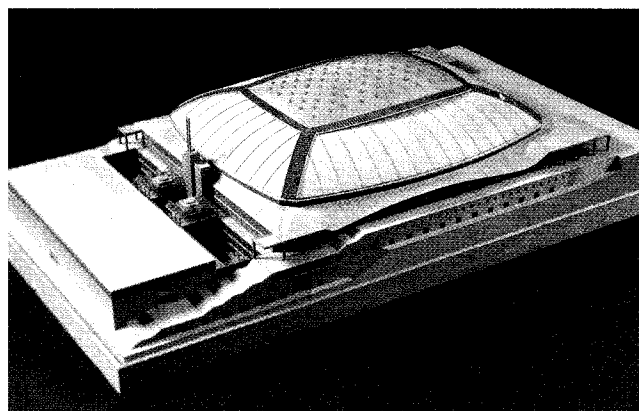
イ 現代美術作品常設展示業務 (2F 60'sホール)

1960年代前半に活動した前衛芸術家グループ「ネオ・ダダ」を中心とする現代美術の作品を、随時展示替えを行いながら常設展示する。

ウ 施設紹介及び展示内容

(ア) 磯崎新建築展示室・60'sホール

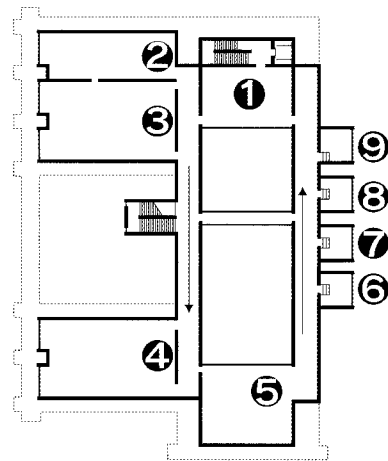
12㎡から111㎡の広さを各々持つ9つの展示



磯崎展示室

室に分かれており、主要建築模型を展示している。今回は展示品の一部を、60'sホールにも展示する。

磯崎新建築展示室平面図



- 〈60'sホール〉
 - ・空中都市 (完成模型)
 - ・孵化過程 (概念模型)
 - ・東京都新都庁舎計画 (完成模型)
 - ・東京都新都庁舎計画 (断面模型)
 - ・香椎浜集合住宅 (完成模型)
- 〈展示室1〉
 - ・海市計画 (完成模型)
- 〈展示室2〉
 - ・シンセン国際交易広場 (完成模型)
- 〈展示室3〉
 - ・シュトゥットガルト現代美術館 (完成模型)
 - ・ミュンヘン近代美術館 (完成模型)
 - ・ブルックリン美術館 (断面模型)
 - ・北九州市立中央図書館 (完成模型)
 - ・群馬県立近代美術館 (完成模型)
 - ・群馬県立近代美術館 (概念模型)
- 〈展示室4〉
 - ・神岡町役場 (完成模型)
 - ・ロサンゼルス現代美術館 (完成模型)
 - ・水戸美術館 (完成模型)
 - ・サン・ジョルディ・スポーツ・パレス (完成模型)
 - ・パラフォルスレクリエーション施設 (完成模型)
 - ・豊の国情報ライブラリー (完成模型)
- 〈展示室5〉
 - ・ハラ・ミュージアム・アーク (完成模型)
 - ・奈義町現代美術館 (完成模型)
 - ・京都コンサートホール (完成模型)
 - ・奈良市民ホール (なら100年会館) (完成模型)
- 〈展示室6〉
 - ・スケッチブック
 - ・孵化過程 (シルクスクリーン)
- 〈展示室7〉
 - ・スケッチブック
 - ・なら100年会館 (シルクスクリーン)
- 〈展示室8〉
 - ・スナップ写真
 - ・レイク・ショア・ドライブ・アパート (エッチング)
 - ・ロス・アンゼルス現代美術館 (シルクスクリーン)
 - ・P3コンファレンス寄書
- 〈展示室9〉
 - ・スケッチブック

(イ) 60'sホール

奥へ向かって2段階に上昇していく床面と、重厚な梁の架かる左右の広い壁面とが、独特の緊張感に溢れた空間を生み出している。頂部の各所からは間接光が降り注ぐ。大型の現代美術作品を展示する。

	作家名	作品名	制作年
1	荒川 修作	もうひとつのテクスチャー I	1960
2	三木 富雄	耳	1966頃
3	工藤 哲巳	Paradise	1980
4	赤瀬川原平	パルサー	1979
5	赤瀬川原平	トマソン黙示録同じ日のハレー彗星	1988
6	中西 夏之	ARC82-II (弓形)	1982
7	高松 次郎	二次元の空間	1982
8	鬨 嘸	レインボーレイン	1976
9	宮脇 愛子	作品	1963
10	石橋 泰幸	滲透・物性	1979
11	風倉 匠	破滅の浄化作用	1973
12	草間 彌生	ACCRETION (No. 3)	1964
13	豊島 壮六	擬人群の連作	1962
14	篠原有司男	モーターサイクル・ヴァン・ゴッホ	1991
15	東松 照明	パフォーマンス (ネオ・ダダ) 吉村と荒川	1960
16	ウイリアム・クライン	ネオダダグループのパフォーマンス写真	1961
17	小林 正徳	銀座を歩く作家たち	1960
18	石松 健男	ネオ・ダダ記録写真 銀座の升沢金平3	1960

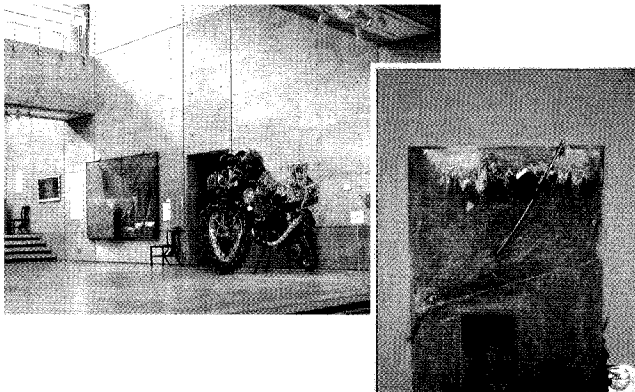
④ 受付方法

- ・使用日の6ヵ月前から、受付を行う。
ただし、芸術・文化活動以外の会議や研修などは3ヵ月前から受付を行う。
また、5日以上連続して行う展覧会については、12ヵ月前から受付を行う。
- ・受付、空き情報の問い合わせは、年末年始の休館日を除く日の午前9時から午後10時まで。
- ・電話等による仮押さえは不可。
- ・使用料は、使用許可の際に事務室の受付窓口で納入。

(6) 利用状況

(平成21年度)

項目	市民ギャラリーA	市民ギャラリーB	アートホール	実技室	研修室
利用日数	301	308	236	310	295
利用率(%)	84	86	66	87	82



60'sホール

(5) 利用案内

① 開館時間

午前9時から午後10時まで (ただし3階磯崎新建築展示室は午後6時まで)

② 開館日

年末年始 (12月28日～1月3日) を除く全日

③ 使用料

	4月・5月・10月・11月料金	冷暖房期間中料金	
アートホール (427㎡)	1日(9時～22時)	9,500円	
	1時間	1,150円	
研修室 (79㎡)	1時間	690円	
実技室 (77㎡)	1時間	210円	
市民ギャラリー (338㎡)	1日(9時～22時)	7,500円	
	A室 (236㎡)	1日(9時～22時)	5,250円
	B室 (102㎡)	1日(9時～22時)	2,250円

磯崎 新 建築展示室 観 覧 無 料

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

斜線の部分は冷暖房期間です。